



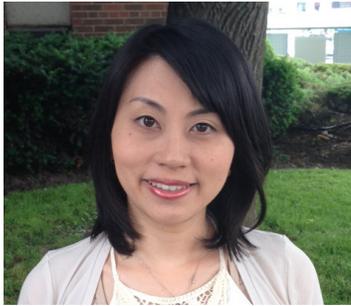
トロント新移住者協会

# にあゆすれたあ



New Japanese Canadian Association • 6 Garamond Court, Toronto Canada M3C 1Z5 • www.torontonjca.com • info@torontonjca.com

## ごあいさつ



会長 原 あんず

前期に引き続き今期も会長を続投することになりました。前期は、前会長の急な引退のため、急遽会長を引き継ぐこととなり、同時に、JCCCの理事にも就任し、見切り発車の状態でスタートした会長職でした

が、新理事も多く加わり、先輩理事のサポートによってたくさん助けられました。

今年は、毎年恒例の新年会だけではなく、夏のBBQパーティーの代わりに、JCCC夏祭りへの参加を拡大し、またダンダスクウェアでの“祭MATSURI”への参加、先日行われた新加盟団体のJapan Football Club of Toronto(日系サッカークラブ)によるFIFAワールドカップのイベントでのキッズコー

ナーのスポンサー、去年新チームで再スタートをした、JICA後援日本語教育プロジェクトの新しい方向性、同じく新チームで再スタートしたヒロコバルルームの運営、まだ他にも動き出したばかりの案や、眠っている案がいくつもあります。

今年は出来るだけ他団体との連携を強めて、多様化する日系社会の中で、幅広く活動を行い、子供からシニアまでのできるだけ多くの会員の皆さん、そして日系人にたくさんの選択肢を提供できるように団体活動がしていければいいなと思っています。

世代継承を行いながら着実に前進している新移住者協会ですが、新理事という若い世代だけではなく、ベテラン理事に加え、以前退任した先輩理事の新たな返り咲きなどを含めて、会員の皆さんと同じように理事の面子も幅広い世代が集まっています。

私たちと一緒に今年も新移住者協会の活動を充実したものにしていきたいと思います。どうかご協力よろしく願いいたします。

## 夏・夏・夏の懐かしい味



まず、夏と言えば思い出すのが「白熊アイス」。鹿児島が発生の地といわれているが宮崎も夏と言えば「白熊」だった。大きな大きなガラスの器に彩りも美しく、「幸せ～」という一言が器から漏れそうなその姿はそれはそれはゴージャスで、暑くなると恋しくなってくる懐かしい味である。カキ氷の上に蜜やコンデンスミルクをかけ赤やオレンジや緑の色鮮やかな果物を盛り付けてその上に小豆の餡や三色寒天などを散らす。今でも、その姿を見ると懐かしくて「お～よしよし・・・」と抱きしめたいようなそんな思いになる。

夏の喫茶店ではこの白熊がで～んと構えて待っていた。しかし、とてもじゃないけれど半分ぐらい食べると体が凍りそうになり、でも、最後の蜜や餡などが混じった甘～い汁は見のがしたくなく、震えながら必死で食べたものだ。喫茶店を出る頃にはガタガタと体が冷えすぎて、外のあの茹だるような暑さが心地よく、夏バテには「もってこいだい!」と思ったものだ。

そして、もう一つ夏バテにもってこい!のわが宮崎の郷土料理「冷汁」は夏には欠かせない。

その起源は鎌倉時代で、ここトロントでも我家では夏になると登

中山あつ子



場する。食欲がなくなるあの宮崎の夏に「グリコ○○○300メートルの力」ではないけれど、これを食べれば元気もりもりというわけである。煮干を香ばしく乾煎りして、すり鉢で粉になるまでです。その香りがきのうの暑さが残っている朝に漂ってくるともう「元気一発○○○C.ファイト一発○○○D」に負けにくいくらいである。

ゴリゴリとすったすり鉢の中には、豆腐や味噌が加わり栄養満点まちがいなし。そこに冷えただし汁を注ぎ入れ、すりゴマと輪切りのきゅうりと紫蘇の刻んだ物をさらに加え、朝の食卓にで～んとお目見えすると一膳ではおさまらず「おかわり～」と言いたくなる。麦ごはん添えてこそ、その旨味は倍増する。その一口ひとくちを噛みしめながら先人のアイディアには脱帽である。しかし、この冷汁は「100件の家庭に100の作り方と食べ方がある。」と言われてるように、私流の冷汁もまた乙なもの・・・と懐かしい味にルンルンな思いで巡り来る夏を楽しんでいる。

私にとって夏の味は頬が緩んでくるような懐かしい味なのだ。今年の夏もこの懐かしい味で体力をつけなくては・・・

# Kick it for Japan 2014 x Samurai Blue Project ～ボールで繋ぐひとつの和～



2014年6月。トロントでも街中がワールドカップに沸き、人種のモザイク都市らしく各国のコミュニティが自分の出身国を大々的に応援して、大きな盛り上がりを見せています。そんな中、日本人コミュニティも負けていられない!と、私たちトロントの日系サッカーチームJFT(Japanese Football club of Toronto)は日本戦のパブリックビューイングイベントを企画しました。題して「Samurai Blue Project」。ワールドカップ予選の3試合をトロントの日系コミュニティで一緒に応援しようという企画です。予選3戦のなかでも初戦にあたる6月14日(土)の対コートジボアール戦は、「Kick it for Japan」という東日本大震災チャリティイベントとコラボレートさせた大規模なイベントとなりました。この「Kick it for Japan」というイベントは、私たちJFTが2011年3月に起きた東日本大震災から3年連続で開催し、被災地のサッカーファミリーに向けて義援金を送っている活動のことで、3年間で合計約3万ドルの義援金を東北のサッカーファミリーへ届けました。昨年までは毎年3月に開催していましたが、4回目となる今年はワールドカップイヤーであることもあり、より多くの人にこの活動を知って頂くためにもワールドカップの日本戦パブリックビューイングとの同時開催をすることにしました。

当日は試合開始3時間前の午後6時からイベントが始まり、開場早々より多くの人で賑わいました。屋外ではボールをシュートするスピードを競い合う「キックスピード」、ボールを蹴って的に当てる「キックターゲット」、また集まった人で即席のチームを作って戦う「ピックアップサッカー大会」が行われました。どのアトラクションも子供から大人まで多くの方にご参加頂き、熱気に

包まれていました。イベントのメイン会場であるサッカードームの中では、試合観戦用の大スクリーンが二つ、また大型TVも2台設置され、会場のどこに居ても試合が観戦でき、フードベンダーブースでは日本食からおつまみ、飲み物、スイーツなどが販売され、アルコールセクションではビールや酒、カクテルが飛ぶように売っていました。試合開始まではライブミュージックやワールドカップ ウルトラクイズといった屋内アトラクションも来場者を楽しませていました。屋外も屋内も、会場全体がお祭りのような雰囲気であふれ、たくさんの笑顔が見られました。



来場者による君が代の斉唱に続き、いよいよ試合開始となると興奮はピークに達し、本田選手が素晴らしい先制点を決めれば、会場は飛び跳ねる人々や抱き合う人々で溢れ、ニッポンコールの大合唱が続きました。残念ながら後半に入りコートジボアールのドログバ選手に試合の流れを変えられ、逆転を許し1-2で惜敗となりましたが、それでも来場された皆様からは「楽しかった」という声をたくさん頂き、私達のスローガンでもあるサッカーで繋ぐ和(輪)がトロントでより大きく、強く繋がったということが一番の喜びです。

最後に、このイベントの開催にあたり多くの方々からの温かいサポートがありました。それらを無くしてこのイベントの成功はなかったと思います。サポートをしてくださった全ての方々にお礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

JFT (Japanese Football club of Toronto)  
幹部一同



(文:Ai Tanimizu)

義援金の集計は追ってJFTホームページ、Facebookにてアップデート致します。

JFTホームページ:<http://www.jfjtoronto.com>  
**facebook** jfjtoronto

## にゆうすれたあ、この7年を振り返ってみて



森貞一弘

僕はいつも、こう言います。「会計が明白にしっかりしていて、議事録が正確に記録され、広報誌が定期的に発行される団体は信用できる」と。しかもその3つは独立した役職・メンバー・部門として構成されていなければなりません。

2007年、トロント新移住者協会は30周年記念誌を作成し、大きなマイルストーンを迎えていました。一方、それに多くの時間と労力をつぎ込んだことによって、各担当者の負担になってしまい、誰もが、疲労していたことも事実のようです。にゆうすれたあの存続さえ危うい状態にあり、102号では、当時、会長であった長石さん自らが、会員更新申込書、年次総会委任状も含めて4ページという緊急版を発刊されています。広告主も見当たりません。

「どんなものでもいいですから思うように自由に、作成していただだけませんか?」と話しを持ち込んだのは相談役だった三枝さんでした。当時、「オーロラ」というライフスタイル誌の編集に携わっていた僕ですが、はっきり言ってまいりました。何をすればいいのか?全く、見当が付きません。それどころか記事さえ集まっています。皆、にゆうすれたあの継続は不可能だと感じていたのも事実でしょう。

「それじゃ、やります」という勢いだけでは、どう転んでも完成しません。それどころか「できることなら8ページ、年4回発行してください…」と要求はいつのまにか高くなっていきます。まさしく聞いてないよ～です。

実は、ある場所に大切に、初版から全てを保管されている「にゆうすれたあ」ですが、案を練るために参考のために眺めてみると、手書きガリ版印刷～ワープロ機器～パソコンと時代の流れ・歴史を感じさせるものでした。そこに費やされた労力や工夫は痛いほど感じます。よく観察するとハサミで切って貼り付けてレイアウトした痕跡があります。しかし報道という面に力を入れすぎていて、面白くない…表現が硬すぎる…。新移住者協会の活動・主張を前に出すすぎている。これでは身内のファンクラブ誌にすぎない。もっと画期的に何かしなければいけないと感じていました。

限られた能力で、試行錯誤してもキリが無いので、よっしゃ、ここで独断で、方針を大きく変えることにしました。誰でも投稿できる

ようにしよう。敷居のない広報部門。「①どんな記事でも不快感を与えなければ必ず、その内に(遅かれ早かれ)掲載します。掲載は早い者勝ちです。」「②自分の言葉で表現してみてください。少々、方言でなまっていたもお経のように一般人に理解不可能でないかぎりよしとします。絵でも短歌でも詩でもかまいません」「③生活の匂いがプンプンするような記事はとても貴重です。身近なところから何か感動するようなものを探してみてください。」と方針を理事会にて発表しました。

あれから8年目、いつのまにか紙面は12ページ冊子になり、広告主となりサポートして下さる会社、団体も増えました。(ゼロからのスタートです)そして何よりも嬉しいことは、様々な方面から生き生きした原稿が届くようになりました。にゆうすれたあは、今、ここに住んでいる移住者・日系人が何を考えて、どういう生活をしていたのかを生の声で記した貴重な広報誌になってきたと感じています。「生活の匂いのする広報誌」、これこそ僕が望んでいたことです。

2年前、新移住者協会が大きく世代継承(当時、日本のマスコミが政権交代で、やたらと乱用していた世代交代という言葉をややまって使っていた記憶が少しあります)を推進する段になり、僕は副会長に抜擢されました。緊急事態とはいえ、この人事は、はっきり言って僕の方針に反していました。役員が広報誌を編集するというのは、倫理的におかしいのです。あってはいけないことです。ということで、ここ2年ほど地道に募集してきて、やっと編集部員として若い女性二人(レイノルズさんと松岡さん)が編集部のボランティアになってくださいました。すごいものです。ここ7年間(多分、最初から今までずっと)一人でやってきた編集室は、これで3人ですよ。いえ、個人的にも、女性が創るものは男性では不可能なほど感受性に満ちた物になると期待しております。年次総会でも話しましたように、新移住者協会の方針は世代交代ではなく、世代継承です。つまり、僕は表面的には編集長という立場から離れますが、後任者がうまく軌道に乗るまで、あるいは時として思わぬ事態に遭遇することもありうるのでその時の臨時ヘルプ要員として、当分は編集部より完全に身を引くことは無いでしょう。

ということで、これからも、にゆうすれたあへの投稿・応援をよろしく願います。

## 海老の皮むき(絆)

三枝與一

JCCCで開催するイベントに海老の天ぷらを販売する目的で、前日にその海老の皮むきを始めたころの思い出は、時空を越えて40年前にタイムスリップしなければならない。カナダに移住した1975年の初夏、家内と二人で何か日系社会で協力できることはないか、JCCCを訪ねた事がその始まりだった。その当時の日系社会は一世、二世が中心となって、不本意な戦争に巻き込まれ財産を失い、その上に不当なキャンプ生活を強いられた。その逆境を不屈の精神で乗り越えてオンタリオに再移住した日系人は自分達の財産を抵当に入れ、多額の資金を銀行から借り入れてJCCCを建設した事に大変な自信と誇りを持っていた。そのJCCCが創立12年目を迎えて、市民協会一世部のメンバーもJCCCの二世も若く元気で、日系社会も隆盛を極めていた時代だった。その当時、移住してきた新移住者に対してJCCCの運営に参加することを拒む雰囲気があった。一部の新移住者が一世に対して言った心無い一言が原因で、JCCCとの溝を一層深刻なものにしていった経緯を後で知るに至った。そこで、関係改善に役立ちたい一心から私達夫婦が買って出た仕事は、臭いが強いのでJCCCの理事たちに敬遠されていた海老の皮むきだった。若い二世の夫人達の監督の下で、1000匹の海老を二人で物置の小部屋で夜中まで掛かってやり遂げたことが2~3年続いた。ある年には我々の存在を忘れられ、夜中を過ぎて気が付くと周りが急に静かになったので出てみると大方のボランティアは帰宅した後だったこともあった。

その後メトロキャラバンも始まり9日間で10,000匹以上の海老の皮むきをした時代が10年間近く続くことになったのだ。今はキャラバンもなくなったが当時を懐かしく思い出す。勤めた会



社も近くだったこともあり、夕食後は週に3回はJCCCに出かけ歴代の館長、理事長ともに親しくなり、その頃からNJCAの活動拠点も徐々にJCCCに移り、会議に使う部屋や台所の使用許可など随分と便宜を図ってもらっていた。そんな時代に個人的にカナダ生活の基礎を教えて頂き尊敬してきた、その先輩諸氏も既に黄泉の国へ旅立ってしまい、遠い過去の思い出となってしまった。

今、当時を振り返るとJCCCの若い理事たちの嫌がる仕事を家内と二人で黙々と続けてきたことが評価されて、頑なに新移住者の運営参加を拒否してきたJCCCの重鎮達も徐々に心を開いてきて、JCCCの理事に推薦され8年間勤める結果となった。現在のNJCAとJCCCとの信頼関係は海老の皮むきから始まったと言っても過言ではないと確信している。現在はNJCAの年中行事の一つとなり若い理事たちの前向きな努力と共にJCCCとの信頼関係も一層深くなってきていると思う。

自分の足で歩いた距離と出会った人々がその人の人生の宝になる事を身を持って体験した。

### 孟蘭盆会先祖供養

2014年8月10日(日) 受付11時より  
法要開始11時30分

リフレッシュメントあり、どなたでもご参拝ください。

10月には、福島県におきまして3,11の被害者の成仏供養を執り行います。  
ご供養を希望をする方は、ご連絡ください。



阿含宗カナダ支部  
Agon Shu Canada Buddhist Association

55 Eglinton Ave. E. # 205 Toronto, ON

TEL: (416) 922-1272

ダイヤモンド、カラーストーン、  
各種パール、カスタムデザイン、  
リモデリング、修理

SEIKO Noritake SEAGULL  
FEWTER



**Kobo Jewellery**

6 Garamond Court, Suite 245, Toronto M3C 1Z5  
(日系文化会館2階)

Tel: 416-384-0008 Fax: 416-384-0013  
kobojewellery@bellnet.ca

# 折り紙

Koji Nakamura



最近、折り紙の良さを再認識しています。最初は、母国から持ってきた折り紙で、何気なく折鶴を折っていたのですが、現在は、くす玉やサイコロ(小箱)を、よく折っています。色の組み合わせを考えるのも楽しく、すっかり夢中になっています。折り紙を折っていると、時間がゆっくりと流れ、心が落ち着きます。折り紙は、すでにカナダでは、Origamiとして英語になっていることをも知りました。

くす玉などの立体折り紙以外では、平面のシャツを追っています。折り紙やメモ用紙で折ったシャツは、葉として周りのカナダ人たちに渡したら、予想以上に喜ばれ、好評です。

あとは、レストランなどの待ち時間に、小鳥や兎を折り、乳児連れの方たちに渡すと、とても喜ばれ、嬉しいです。兎はイースターバニーとして、よく渡していました。折り紙は、母国を代表する美術です。

くす玉は、誕生日の飾りつけ以外にも、クリスマスツリーの上に星として飾れることや、サイコロも、プレゼント箱のミニチュアとして、ツリーに飾れることを、カナダ人の何気ない意見から学びました。☆折り紙は奥が深く、想像以上に多くのものを折れることを知りました。干支、鯉幟、お雛様などなど。

すっかり、ここトロントで、折り紙に夢中です。7, 5 cm x 7, 5 cmの折り紙や、正方形のメモ帳で折ったくす玉やサイコロは、テレビやコンピューターの隣、写真立ての前に飾ると、ちょっとしたアクセントになりますね。

**J-TOWN Japanese Shopping Centre** 日本の物なら何でも揃う [www.jtown.ca](http://www.jtown.ca)

3160 Steeles Ave. E., Markham L3R 4G9  
 営業時間 : 火・金 10:00~19:00  
 土 9:00~19:00  
 日 11:00~18:00  
 月曜定休

<b>平成マート</b> 日本食品 和風野菜 etc 905-305-0108	<b>BAKERY 中むら</b> パン、ケーキ 905-477-3555	<b>FaMu</b> 特約農場より直送の 安心なナチュラルミート、 和牛、黒豚、皮付チキン他 905-475-5005
<b>SAKANA-YA</b> 日本からの鮮魚直仕入 漬付け魚 各種弁当他 647-688-4815	<b>とら寿司</b> 日本人板前の 本格寿司! パーティードレイトも ございます。 905-948-8047	<b>J.B.C.</b> Books & Videos 日本の雑誌、 ビデオ、古本 905-415-0611
<b>Boutique Ai</b> 日本からの 婦人服と アクセサリー 905-470-7772	<b>SILK</b> 日本の雑貨一般 905-258-0294	<b>Japan Beauty IMAGES INC</b> SHISEIDO トイレットグッズ 905-943-9248
	<b>Cafe Green Tea</b> カレー、うどんなどの 軽食喫茶 905-470-0758	<b>STUDIO T (美容室)</b> 予約優先制 905-475-4247

# HBR便り

中山あつ子

野外行事が目白押しに並ぶ夏がやってきました。祭り、ピクニック、BBQなど太陽と遊ぶ皆さんの姿が目に見えるようです。

さて、HBRでは野外活動に負けじと室内での活動を同じように続けています。私達は、皆様おひとりお一人のそれぞれの思いの中で活用していただけるように、ドアをオープンしてお待ちしています。どうぞご遠慮なくお時間のある方は、一度HBRに足をお運びくださいませ。HBRの最近の情報として新しく将棋クラブが発足し、1年を通して予定を入れていただき活用していただいています。また、予定として着物着付けなどの会を発足していくことも検討中です。興味のある方はぜひご一報くださいませ。

HBRは、今年の9月30日で5年契約の4年目が終了いたします。5年後も継続ができるようにこれから話し合いが進められて行く事になりますが、皆様のHBRとしてHBR継続の案などをいただければ幸いに存じます。

## \*オープンハウス

月 12:00am-4:30pm 親睦、情報交換など  
 水 10:30am-4:30pm 親睦情報交換など  
 金 13:00am-4:30pm PC、IT関係、デジカメなどの無料相談

## \*HBR情報サイト

<http://torontonjca.com/hiroko-barall-room/>

## \*問い合わせ

647-352-3687(中山)  
[atsukocanada420@yahoo.co.jp](mailto:atsukocanada420@yahoo.co.jp)

## \*HBRオープンハウス変更は日系社会電子掲示板に掲載

<http://torontonikkeiforum.2forum.biz/f1-toronto-nikkei-forum>

OPEN:10a.m.TO 7p.m.(SUN:11a.m.TO 6p.m.)CLOSED:TUESDAY  
 730 QUEEN ST. W. TORONTO M6J 1E8 TEL. 416.703.4550 FAX. 416.703.8593

**JAPANESE FOODS & GIFT SHOP**

**SANKO**  
<http://www.toronto-sanko.com>

日本食料品  
 みそ・しょうゆ各種  
 新鮮野菜  
 冷凍魚各種  
 スキヤキ肉  
 数の子昆布  
 いくら・とびこ  
 塩鮭切身  
 冷凍えだ豆  
 和菓子各種  
 オーガニック緑茶

さくら米  
 炊飯器  
 和食うつわ多種  
 新刊雑誌・古本  
 MAXELL/バッテリー  
 ペンテルペン  
 デレホンカード  
 ビデオレンタル  
 元気の源 元気ドリンク  
 他たくさん!!

書籍は航空便で直輸入  
 定期購読受付中!

おにぎり(おみ) 活気のある人求む  
 お弁当(おみ) あります 土日働ける方募集中!

## 本気になればなんでも出来る

鉄板健太代表 谷口健太

みなさん初めまして。トロントのダウンタウンで鉄板焼き居酒屋を経営しております。谷口健太です。

まずは自己紹介をさせていただきます。北海道の小さな街、十勝清水で生まれ育ち、中学生時代に志した中華料理のシェフになるため札幌の専門学校で料理の基礎を学びました。卒業し、長野県のホテルの中華部門で1年半、その後東京都渋谷の居酒屋『てっぺん』で鉄板料理を学びました。

トロントに来たきっかけは当時から付き合っていた彼女が半年間留学するため。半年間「遊び」に来ました。ワーキングホリデーですから半年間バケーションのつもりで、キャンプやBBQ、南の島や本場のスキーを楽しもうと思っていました。

### トロント生活スタート

なんとなく学校、ホームステイを決め、彼女との同棲生活が始まりました。やることもなく留学エージェントでブラブラしているとこれから居酒屋をオープンさせるというオーナーさんに会い、アルバイトすることになりました。新規オープンということもあり日本の飲食なみに毎日が忙しく朝早く出勤し朝方帰るとい日々になっていきました。毎日がハードでしたがとても楽しかったことを記憶しています。イベントの計画をしたり、お客様が喜んでもらえる企画を創ったりと、今思い返せば「0から創る楽しさ」に目覚めたのはこの経験があったからだと思えます。

半年間の滞在のつもりがワークビザを出してもらい結局3年半、うち1年半を店長というポジションで経験させて頂きました。

この3年半でカナダと日本の働き方の違い、飲食の現状、人生の楽しみ方を学ばせて頂きました。

ちょうどこの頃、独立のお話を頂きました。

お話を頂いた時正直早すぎて断ろうかと思いましたが、「オーナーシェフって肩書きがかっこいいな」という単純な理由で前向きに考えていました。今までは「33歳までには鉄板焼きで独立したいな」と漠然と考えていましたがこれも人生のタイミング、逃したらきつと後悔する。自分の力を試してみたい。この状況がワクワクする。そして一番に「谷口健太」として、一人の人間として見てくれて声をかけてくださったことは本当にうれしかったです。気がついたら彼女に挑戦したいと告げていました。



### 新しい挑戦

4ヶ月後のオープンに向けてやるべきことを箇条書きにし、一番最初に向き合ったのは苦手だった数字。そしてメニュー構成や業者とのミーティング、備品や制服の発注などやるべきことはたくさんありました。そして一番大変だったのが店舗内の改装でした。ぬくもりのあるあたたかい店内を創りたいと考えていたので大工さんに教えて頂きながらテーブル、イス、バーカウンターを木材の買い出しから携わり、全て手作り。ペンキ塗りや壁も作りました。今までは完成したお店でしか働いたことがなかったのでお店を創るという仕事はとても勉強になりました。

工事に時間がかかりやるべきことはたくさんありましたが不思議と不安は無かったです。「仲間がいるから大丈夫」いつもそう思っていました。

オープンしてからの記憶はほとんどありませんがただひたすらお料理を作っていたと思います。余裕が出て来た今はもっとお客さんと会話をして楽しい店にしていきたいです。

ぼくがやりたいお店のコンセプトは「みんなが集まる場所」。

なんだか普通なコンセプトですがオープンしてから思うんです。常連さんが集まる店っていいなあと。常連さん同士が仲良くなって一緒に飲んでる光景をみていると最高にうれしい気持ちになります。

### HASHIGO PROJECT

今年の4月、HASHIGO PROJECTというイベントを企画させて頂きました。これは会社も違う日本人経営の飲食店が7店舗集

まり3ヶ月間スタンプラリーを行うという企画です。一つの店舗だと難しいことも多店舗だと可能になる。日本人経営の質の高さをカナダで紹介したい。もっと飲食店を繋げていきたい。そういった想いでスタートした今回の企画。もちろん全店舗会社が違うのでライバルです。自分たちのお客様を他店舗に紹介することにはかなりのリスクを伴います。しかし、そういったリスクを考えるよりもプラスに考えた方がおもしろいと考えました。経営者のみなさんはぼくよりも年齢も経験も深い方ばかりですが「一緒になにかしたい」と想ってくださいっている熱い方達でした。こんなに熱い「仲間」と一緒に企画が出来るのは本当に幸せです。

### 伝えたいこと

このお店を通して伝えたいことは『飲食の可能性の大きさ』、「大人が本気になればなんでも出来る」ということ。

ぼくがイベントを企画する時大事にしていることは「おもしろいかどうか」です。

どんなアホなイベントでもみんなが楽しめるのであれが実行します。他店舗とのシェフコラボやプロジェクターを使ってのマリオカートなどおもしろいイベントを仲間と一緒に出来るのが最高の楽しみであり、これから飲食をやっというと考えている人たちへの最高にかっこいい後姿なのではないかと考えています。

### これからの展開

鉄板健太からトロントを元気にしていくことに留まらず、飲食以外にも展開をしていきます。

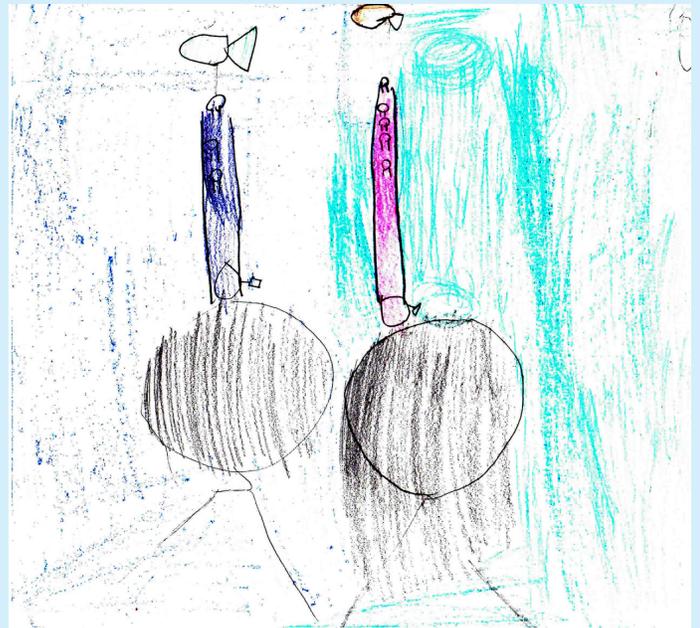
スペースをレンタルしたり、企画を創って飲食を活性化したり、日本の素晴らしい文化をもっと伝えていけるような展開をしていきます。そして社員やその家族が幸せになれるビジネスモデルを確立し日本に「カナダスタイルの飲食」を広げていくことが目標です。

大好きな飲食を誰もが憧れる職業にしていくために。

まだまだこれからですがこれからもみなさまに愛される会社にしていきますのでこれからも応援よろしくお願いたします。



24 wellesley St w Toronto  
647-345-0905  
info@teppankenta.com  
facebook TeppanKenta



ライスレイクにつりに行きました。たくさん魚がいました。25ひきつれました。たのしかったです。おとうとのたいようは、15ひきつれました。 てるおか みなみ



### 我が家の愛犬 “サンデー”

サンデーは英国から生まれたスプリングースパニエルのメス犬で、名前は日本語にすると”日曜日”。体重16kgの中型犬でもうすぐ4才です。人好きで、特に小さい子供が大好き。この犬種はもとは猟犬で、撃ち落とされた鳥を取りに行くのが仕事だそう。通りでサンデーは、庭に来る鳥を連日ひたすら追いかけるのです。(呉美紀)



## 仕事・家庭、そしてこれから・・・

吉田優子



FTFBW会員で不動産ブローカーをさせていただいております吉田優子です。本当に人生というものは不思議なもので、ワーキングホリデーで異文化に触れにカナダを訪れてからあつという間に20年以上経ち、その間に家庭・子供・仕事・友人にも恵まれながら、こんな人生を過ごさせていただいていることを思う

と本当に全ての出会いに感謝の気持ちでいっぱいになります。

こちらに来てからは日系企業にお世話になったあと、カナダのIT関連の会社のFINANCE部門でしばらく仕事をさせていただきました。毎週2回、数億ドルの支払いの最後のボタンを押すような業務を任せていただき、また日本人が一人もいない環境の下、こちらでのビジネスプラクティスを本当によく勉強させていただきました。こちらにお世話になっている間に最初の子供を出産し、それから2番目の子供を妊娠した時に家を売却し引っ越したのですが、その時にお世話になった不動産ブローカーが現在の職場の社長なのです。彼女との出会いによって、不動産のお仕事という興味を持ち、ライセンスの取得を目指すことになりました。そして、2番目の出産までになんとかライセンスを取得しました。

それから1年間の産休の間に、収入もベネフィットも安定しているFINANCEのお仕事に戻るか、もしくは一から始める必要があり、収入も完全なコミッションまたベネフィットも一切ない不動産業をとるか悩みに悩みましたが、悩んだ時はリスクのある方を

選ぶという私の持論で、不動産のお仕事をすることに決めました。

それからあつという間に10年以上がたちますが、本当にお客様・社長をはじめ、弊社のスタッフ・家族・友人のおかげでここまで来ることができました。心から今の仕事を選んでよかったと思うのは、毎日いろんな方との出会いがあり、いろんなことを教えていただき、それからその関係が1回だけではなく、お客様からまた違うお客様をご紹介いただいたり、また2回目・3回目、それ以上、何年・何十年にも渡ってお客様の人生に関わっていくお仕事をさせていただいているということを実感するときです。

仕事・家庭とで忙しい毎日に流され、日本人コミュニティーになかなか関わっていくことができなかつたのですが、これも仕事と子供の縁で知り合いになった原あんずさんがFTFBWの設立の際にお声をかけてくださり、こちらに参加する機会を作ってくださいました。また今回のこのコラムの執筆も、レイノルズ洋子さんがお声をかけて下さり、日本語の文章をこういった形で本当にもう何年も書いておりませんので、恥をさらしてしまうかとも思ったのですが、折角の機会ですので、ありがたくお引き受けすることにいたしました。

今後はFTFBWを通して、次世代へつなげていくことができる何かが出来るように、微力ながらお手伝い出来ればと考えております。

Century 21 South Breeze Realty Inc.

647-225-1216(直通)

905-477-5511(オフィス・24時間)

yukoyoshidaC21@gmail.com



**土曜日の営業時間が 9:30-16:30 に拡大延長!**

IATA 加盟店 **アレンジはドコにも負けません。**

**最安値宣言** 日本行き アメリカ行き  
は大得意です!

**カナダ・ファンドレイジングプログラム**  
IACE TRAVELは各種団体の運営のお手伝いをします。  
航空券の予約一件につき、\$10を団体様にご寄付させていただきます。  
ご興味ある方は是非ご一報下さい!

**JRパス** 日本帰国の際には、  
即日発行できます。  
7日間乗り放題・オーティナリーパス  
¥29,110  
長期バス・グリーンパスもござります。

**IACE TRAVEL** 800-931-4223  
300-1240 Bay St., Toronto, ON M5R 2A7

営業時間  
月-金: 0900-1800  
土: 0930-1630



**OCSCANADA**

(905) 677-6727  
www.ocscanada.ca

**秋の風物詩  
カナダ産松茸とOCSC**

## 山形の思い出

古川 毅

両親は山形県出身でしたので、トロント市の紅花の会には発足時から入会しております。産まは山形県東置賜郡赤湯町(今の南陽市)でした。母の実家はここにあり、母の家は両親や姉妹が多く、出産には色々便利でした。



戦争中の疎開は、父の実家のある、米沢市の叔父の家に一時おり、またその郊外の上郷という所へも移りました。わずか1年足らずの時でしたが、とても懐かしい思い出でした。特に放課後に川遊びや、たんぼで遊びました。所謂里山でした。数年前に帰国した際に再度案内してもらいましたが、昔の面影はなく、田んぼや畑は住宅に変わってりました。

戦争が終わってから、東京へ戻りました。夏休みには母と共に米沢市や赤湯町に帰りました。特に赤湯町には、同じ年頃のいところがお一緒に遊びました。そのいとこたちの数人はもうすでになくなっております。この赤湯の実家は温泉ホテルをやっており、農家の人たちは農閑期に温泉に自炊の泊まりにきておりました。今では自炊の出来る温泉ホテルは珍しくなり、見かけませんが、その当時は長期に泊まる人は、自炊つきの温泉ホテルを利用する需要が多かったようです。今でもこの温泉ホテルを従兄弟夫妻が経営しており、山形へ帰ると、いつも温泉にいれてもらいました。この赤湯の温泉旅館にも不景気が訪れて、数件の温泉旅館もつぶれております。おじさんの時代に2件あった温泉旅館も1軒はつぶれましたが、幸いにもまだ1軒は健在です。今

は泊まりの人は少なくなって、宴会が経営を支えていると耳にしました。末永く続けてもらうことを祈っております。今は3代目から4代目になっておりますから、もう100年以上は過ぎておりますね。



この赤湯の従兄弟の一人は静岡県清水市の東京商船大学を卒業しておりました。彼は在学中練習船日本丸でハワイやアメリカ西海岸へ演習航海をやっておりました。彼から外国旅行の話をつづき聞きました。お土産にとやしの実をもらい、そのときの航海旅行がうらやましくなり、今度は自分が外国へ旅行をしたいなあと思ったもその頃でした。

山形県の誇りとしている果物にさくらんぼの佐藤錦があります。佐藤錦の特徴は甘さと酸味のバランスの良さとジューシーさ! ルビー色の粒は張り艶が良く、果肉は程よい歯ごたえで肉感的。

さくらんぼ生産量全国No1の山形県において、最も多く作られている品種がこの佐藤錦です。さくらんぼはとてもデリケートな果物です。雨が降ると実割れしてしまうので、昔は赤くならないうちに収穫していました。現在は雨よけハウスを設置し、十分に熟して真っ赤になった甘くておいしいさくらんぼをお届けできるようになりました。



**新鮮! 美味!**

- ◎ 蒲鉾 ◎ 竹輪
- ◎ 薩摩揚げ ◎ 天ぷら
- ◎ シュウマイ
- ◎ その他の練り物

日本、中国、韓国食品店でお試しください。

3 Turbina Ave, Toronto, ON, M1V 5G3  
Tel. (416) 285-6487  
Fax. (416) 285-4012  
info@oceanfood.ca  
www.oceanfood.ca

**栄養バランス満点!**



— ウェインズ・カナダ —



**新車・中古車・一般修理  
板金/塗装/リース**



Don Valley North Automotive Inc.は2012年、Weins Canada Inc.に社名変更いたしました。

<b>Don Valley North Toyota Scion</b> 3300 Steeles Ave. E., Markham 905-475-0722 支野	<b>Markville Toyota Scion</b> 5362 Hwy. #7, Markham 905-294-8100
<b>Don Valley North Lexus</b> 3120 Steeles Ave. E., Markham 905-475-1625 鶴山	<b>Lexus of Richmond Hill</b> 11652 Yonge St., Richmond Hill 905-883-2612 坂本
<b>Don Valley North Hyundai</b> 7257 Woodbine Ave., Markham 905-513-6876	<b>Oakville Volkswagen</b> 1305 N. Service Rd. W., Oakville 886-577-5419
<b>Audi Centre Oakville</b> 1345 N. Service Rd. W., Oakville 886-313-1997	<b>Collision Repair Centre</b> 391 John St., Thornhill 905-886-0434 山口

## ビッグバン宇宙誕生の音が聞こえた・・・

三浦信義

南極の広大な氷原。満天の星。その闇の間から降り注ぐかすかな宇宙背景放射線(CBR)。そのCBRを観測していたら138億年前のビッグバン、宇宙誕生の音が聞こえた・・・。

◆宇宙の誕生 - おさらい◆ 我々の宇宙は、138億年前に量子力学領域の無限大のエネルギーを持つ無限小の塊が不安定になり、大爆発(ビッグバン)を起こして誕生したと言う。

爆発直後、宇宙はインフレーションという経済学者も思わず身乗り出す急激な膨張を起こす。その宇宙は超高温、超高圧、超高密度の混沌とした素粒子のスープで、エネルギーと物質の区別さえなかった。

やがて素粒子が結合、陽子と中性子が出来た。それでも温度はまだ高すぎて、陽子と中性子や電子は興奮してブンブン飛び回っていた。

やっと落ち着いて陽子・中性子と電子が結合するのがビッグバンの38万年後、宇宙の温度が3000度に下がった頃である。この時初めて光が宇宙空間を自由に飛びまわるようになる。

◆宇宙の起源からの光◆ この光がCBRで、138億年経った今でも絶対温度2.73度の微弱な放射線となって全天から地球に降り注いでいる。

これとは無関係の研究をしていた米国ベル研究所の科学者が間違っ  
てこの光を探知、彼らは1978年のノーベル賞を貰った。ノーベル賞は  
間違っても貰える。

以来、CBRは宇宙の起源からの情報として詳細に観測・研究されて来た。

1992年にその光の分布の中に後(のち)に銀河達を作り出すことになる  
「種」の模様が見つかり、新聞は「宇宙の創造主が見えた!」と騒いだ。  
その発見者達は2006年のノーベル賞を貰っている。

2001年には、その模様の中にインフレーションが起こった証拠とされる  
3つの波長のピークも見つかり、宇宙誕生の理論が次々と証明されて来た。

◆重力波とは◆ 観測技術の急速な前進で次々と発見される物理現象  
の中で未だに観測されていないのが重力波である。

アインシュタインの相対性理論では物体の質量は空間にゆがみを起こす。  
その物体が運動すると、このゆがみが光速で波紋のように宇宙に広が  
っていく。中性子星(パルサー)同士の合体や超新星爆発(スーパーノバ)  
などが主な重力波の源である。

現在その波紋を探知しようといろいろな観測機器や巨大な観測設備  
が設置され、科学者達はそれらが揺れるのをじっと待っているが、重力  
波とは非常に微小な揺れで、今のところ探知するに至っていない。

◆宇宙誕生の音◆ 南極は極低温の為に空気中の水分は凍結して

落ちてしまう。水蒸気は微弱な電波を吸収する。従って乾燥した南極の空気はCBRのような微弱電波の観測には最適の場所である。



そこに設置された電波望遠鏡はCBRの偏光模様を観測していた。そ

したらビッグバン・インフレーションが弾き出した重力波がCBRの中を突き抜ける時に起こす偏光模様がCBRの中に発見された、と言う。

これは重力波の直接の探知ではなく間接的な探知である。しかしながら、もしこれが事実とすると画期的な発見である。

CBRはビッグバンの38万年後の宇宙の情報であり、それ以前の宇宙を知ることは難しいと思われていた。今回の発見は宇宙誕生の瞬間の情報であり、かつ、今まで理論に過ぎなかったビッグバン・インフレーションという宇宙誕生の過程が証明されることにもなる。

◆シャンペンを抜くのはちょっと待て◆ 科学の世界での「発見」とは、間違いである可能性を徹底的に排除し、かつ、第三者が独立した方法で同様の結果を得た時に、初めて事実として認められる。

2012年に新聞を賑わした「神の粒子」ヒッグスの発見も、発表の7月の時点ではまだ間違いである可能性がわずかに残っていた。さらなる解析で確信が得られ、別の探知機でも確認されたのは11月である。

今後この重力波の発見を確認する活動が活発になる。この発見が事実と認められ、宇宙の根源に迫る研究が大きく前進することを期待する。

理化学研究所の万能細胞発見の発表の波紋が伝わって来る。研究に携わった者の目から見て、あの発表には事実の高い確率での提示および第三者の独立した確認という大事な手続きが欠けているように見える。



今は宇宙天文学の黄金時代と言われる。今まで想像や理論でしかなかった事項が次々と証明・観測され、思いもかけなかった発見が続く。自分が生きている間には分からないだろうと思っていたことが次々と解明されていく。

自分は何と幸せな時代に生きていることか、と思う。

見上げてごらん、夜の星を・・・。「コスミック茶話」定価\$18(税込)。  
新発売「トロ大留学日記」定価\$5(税込)。  
購入は三浦:nobbycosmic@yahoo.co.jp

## ついでに受けた大腸検査だったのに・・・

マーナ豊澤英子



前回(シリーズ6)、胃の検査のついでに大腸内視鏡(Colonoscopy)も受けたことをお話ししました。カメラは肛門、直腸、S状結腸、下降結腸、横行結腸、そして上行結腸へと進んでいきました。私は医師とその画像を観察していました。何せ自分の大腸を実際に観るのは初めてなので、不安と言うよりも興味津津でした。未知のものに興味関心が強いのは子供の頃からの特性。カメラの最終地点(盲腸)が目前になったとき、医師の声が上がりました。私もあつと思いました。りっぱな異物(Mass)があるではないですか!相当の確率でがんだろう、と覚悟しました・・・。

大腸は1.3~2mほどで、食べた物の分解や吸収を行うほか、水分を吸収する役割を担っています。大腸壁は内側(食べ物が接する面)から「粘膜」「粘膜下層」「固有筋層」「しょう膜下層」「しょう膜」の5層から成ります。がんは粘膜で発生し、進行すると徐々に深い層まで到達していきます。がんが「粘膜下層」にとどまり、リンパ節へ転移がない場合「早期がん」、それより進んだ状態であれば「進行がん」と呼ばれます。がんには「隆起型」「平坦型」「陥凹型」の3形態があります。

残念ながら、早期がんの段階では自覚症状がほとんどないために発見するのは困難とされています。進行すると、便に血液が混じる、便が細くなる、下痢と便秘を繰り返す、残便感がある、といった症状が現れます。現在、日本人女性の死亡率第一位は大腸がん(日本のデータ)。西洋社会に住む私たちはもっと危険性が高い、と考えてもいいでしょう。40歳代から増え始め、60歳代から急激に増加します。

最近の大腸内視鏡は、便潜血検査では見落としがちな平坦型や陥凹型も発見できるようになり、また病変の拡大機能や色素をかけて調べる方法を併用して、がんを見逃さない技術が飛躍的に進歩しています。

さて、検査後すぐに私とJohnは医師と面談。「非常にまれな場所でした。これから病理学検査に出します。がんである可能性が高いことを覚悟しておいてください。」と宣告されました。前号で述べたように、検査を受けるまでに3カ月と言われてびっくり!その頃には帰国することになっていました。是が非でも検査を済ませておきたいと迫って、やっと帰国2日前に検査してもらえたのです・・・。

結果が届くまでに1週間とのことなので、予定通り出発することになりました。Johnとは「検査結果によって手術が速くなる場合すぐに戻ってくる、手術日程に余裕があれば大学の講義や歌謡ステージを済ませて戻ってくる。」等についてバタバタと話し合っ、トロント空港を飛び立ちました。「これは大変なことになったなあ。」と思いましたが、不思議と不安や恐怖はありませんでした。飛行機の中で食べられない、眠れない、気分が落ち込むこともありませんでした。「飛行機や車の事故で突然に家族や友人に別れを告げねばならない状況に比べたら、まだまだ私には時間がある。」という気持ちが強かったように記憶しています。

大分とトロントの二重生活なので、日頃から整理に心がけていますが、いざとなるとやはりやらねばならないことが諸々・・・Johnや日本の家族に迷惑はかけられません。この状況で帰国できるということは有難い!もし、進行がんで手術し、抗がん剤治療や放射線治療を次々と行うことになれば、もう大分へもどってくる体力はなくなるかもしれない、これが最後の機会になるかもしれない、と覚悟していました。

直ぐに折り返しトロントへ帰ることを考えて、大分に着くや否や兄弟夫婦に託さなければいけない事柄を整理し、状況を伝えました。

結果が届くまでの1週間、落ち着いて過ごせたのはナースとしての長い経験があったお陰、と思っています。多くの死にいく方々に接しながら「私もいつかは死を迎える。一瞬一瞬を大事に生きていこう。」と学ぶことが多く、そのように歩んできたからです。想い返してみれば、いつも何かに向かって突進していました。人間としての価値や生きる意味を求めて、暗いトンネルの中で苦しんだ日々もありました。そして、過去は反省するけれども、過去には縛られない生き方を志向するようになりました。その生き方を理解し認めてくれたJohn・・・彼の存在に導かれて、大分からみれば地球の果てのトロントまでやってきました。人生とは何と波乱万丈で面白さに溢れているのでしょうか。Johnとはまだ世界一周旅行をしていないけれど・・・出会って10年間の共に過ごした時間の質は濃く、これ以上の幸せはないなあ、と心から想いました。同じ状況を抱えても、ポジティブ思考であるほうがきっと楽に乗り切れるように感じています。皆さま、いかがでしょう?

トロントのJohnから電話がありました!「Eiko, you are so lucky!」と・・・「もう1年先の検査だったら保証できなかつたよ」と医師に言われたそうです。母を看病した過酷な日々がなかったら、胃の痛みが生じることもなく、ついでに大腸検査まで受ける機会は確実にずっと先になっていたことでしょう。親孝行のご褒美をいただいたような気がしています。

手術時に行う病理学検査で最終診断が行われます。手術まで1ヶ月半。毎年大分で歌謡ステージに立っており、どんな結果であっても歌うつもりでした。私にとっては舞台上で歌い、踊ることが大きな生きがい。いつものように笑顔で舞台を終えて、直ぐにトロントへ向かいました。

(次号は英子の入院記です。)

(医学博士 日本登録看護師)(イラスト:絵本作家 後藤礼子)

参考文献:NHKテレビテキスト・きょうの健康、2012年10月号 & 11月号。

## 「オンタリオ大分どげえ会」のお知らせ



県人会代表 マーナ豊澤英子

大分県出身の移住者、駐在員、留学生、ワーキングホリデーの皆さま、お元気にお過ごしですか?どげえしちよるか〜い?1年があつという間に経ち、2014年の夏がやってきました。第2回オンタリオ大分どげえ会を行います。BBQを囲みながら、カナダと大分での様々な出来事を語り合う楽しいひと時にいたしましょう。オンタリオに古い人、新しい人...是非に同郷の輪を広げましょう。お知り合いに大分県出身の方がいたら、下記の情報をお伝えください。よろしく願いいたします。

日時: 8月2日(土)15時~21時

場所: マーナ ジョン & 英子 の自宅

参加費: 無料

連絡先: mernagh@rogers.com



今年もNJCA出店します!遊びにきてくださいね!  
(おもちゃ販売、ゲーム、着付け)

日時: 7月27日(日)10am~10pm

場所: Yonge-Dundas Square (1 Dundas E. Toronto)

にゅうすれたあ次号発行日

10月7日

にゅうすれたあに投稿しませんか?

お便り・投稿募集しています!

こちらまでお送りください。(締め切り9月10日)

njcanews@live.jp



## JCCCライブラリースケジュール



7・8月の夏の期間のJCCCライブラリーの貸出日は、第2と第4の水曜日と土曜日です。

貸出水曜日: 7月9日、23日、8月13日、27日

貸出土曜日: 7月12日、26日、8月9日、23日

貸出時間: 1:00pm - 5:00pm

一般閲覧日: 火、水、木、金、10am - 2pm

\*ただし貸出の水曜日は1pm - 5pm

夏休み中、お子様と気軽に遊びにいらしてください。

## JCCC行事スケジュール・お知らせ

7月12日(土) JCCC夏祭り

7月26日(土) 映画鑑賞:HAFU

7月27日(日) MATSURI in Dundas Square

8月4日(月) JCCC休館日

8月10日(日) エイサー公演

8月15日(金) 子供ミュージカル「ロンの花園」

8月28日(木) 映画鑑賞会:旅立ちの島唄

## [ 編集後記 ]

はじめまして!洋子です!

今号からNJCAの編集を担当することになりました。

よろしくお願ひします。様々な歴史を経て、多様化する日系社会となりましたが、これからも幅広い読者の方々に楽しんでいただくと嬉しいです。今回は「生活の匂いのする広報誌」となりましたでしょうか?森貞さん、本当に長い間お疲れさまでした。ありがとうございました。皆さん、美しく短いカナダの夏を思い切り楽しみましょうね!

(構成・デザイン:Yoko Reynolds & Miho Matsuoka)

